

## 長崎県基幹種雄牛 「勝乃幸（かつのさち）」の枝肉成績（統報）

「勝乃幸（勝乃勝 - 金幸 - 神高福）」は平戸市大島村の生まれで、平成28年度に県基幹種雄牛に認定されました。現場後代検定では、**驚異のBMS 10.3(当時日本一)**を記録し、現在でも全国トップクラスの成績となっています。

昨年、一度ご紹介した勝乃幸の成績につきまして、令和元年12月末までに出荷された産子の枝肉成績がまとまりましたのでお知らせします。

平均枝肉成績は下記のとおりです。

前回の120頭から353頭増加した全473頭の成績は、**BMSが平均8.9、上物率(4、5等級率)が97.9%**と、引き続き非常に高い成績を収めており、勝乃幸が特に肉質に優れた能力を持っていることを示しています。また、ロース芯やバラ厚も大きく、歩留基準値は**75.6**と長崎県平均と比べて良好な成績となっています。

### 【勝乃幸産子（去勢）の枝肉成績】

	頭数	枝重	ロース芯	バラ厚	皮下脂肪厚	歩留	BMS	上物率
勝乃幸去勢 <sup>1</sup>	473	489.7	66.7	8.7	2.4	75.6	8.9	97.9
長崎県平均 <sup>2</sup>	7288	504.2	63.0	8.3	2.7	74.4	7.3	83.1

<sup>1</sup>長崎県肉用牛改良センター調べ（R1.12.31時点）

<sup>2</sup>日本食肉格付協会HPより抜粋（令和元年長崎県去勢牛平均枝肉成績）

「勝乃幸」本牛は体幅、体深に富んでおり、地域の共進会では「勝乃幸」産子がグランドチャンピオン賞を受賞しています。今後、本県の繁殖雌牛の能力アップにつながることも期待されています。



肉用牛改良センターHP



「勝乃幸」号